

「北海道グローバル戦略（仮称）」の骨子」（素案）

平成 29 年 6 月
総合政策部国際局
経済部国際経済室

I 戦略の概要**1 策定趣旨**

急速にグローバル化が進む中、「世界の中の北海道」として本道が目指すべき姿を道民と共有し、食や観光等の経済分野をはじめ、国際交通網の整備や教育・文化など、関連する幅広い分野の施策を相互に連携させながら、戦略的・効果的な国際化施策の展開を図るための基本的な指針として、新たに策定するもの

※総合政策部所管「国際化推進指針」と経済部所管「海外との経済交流推進方策」を統合

2 位置付け

本道の国際化に向けた展開方向について、「めざす姿」や海外展開の取組を進める上でのアプローチなどを示し、道民と共有

3 推進期間

平成 30 年度からおおむね 5 年間

（国際情勢の変化等を踏まえ、適宜見直し）

II 現状と課題**1 本道を取り巻く国際情勢**

- (1) 総論
- (2) 東アジアの情勢
- (3) ASEAN の情勢
- (4) ロシアの情勢
- (5) 北米の情勢
- (6) 欧州の情勢
- (7) その他地域（中南米・アフリカ・中東など）の情勢

2 本道の国際化の現況

- (1) 交流人口（外国人来道者数、留学生数の推移など）
- (2) 貿易
- (3) 道内企業の海外展開
- (4) 海外からの投資
- (5) 国際定期路線・航路

3 課題

- (1) 国際化に対応した人材の育成、高度外国人材の活用
- (2) 多文化共生社会の形成
- (3) 国際交通・物流ネットワーク等の整備
- (4) 国際情勢やカントリーリスク等への対応
- (5) 海外との人的ネットワークの形成
- (6) 北海道ブランドの戦略的発信

Ⅲ 国際化の展開方向

1 めざす姿

“世界に広がる「憧れのくに・北海道」”

2 国際化施策の展開方向

【展開方向Ⅰ 本道の魅力や強みを活かした海外展開】

積極的な海外展開を図ることにより、海外の成長力を取り込み、活力ある地域づくりにつなげることを目指す。

【展開方向Ⅱ グローバル化に向けた環境づくり】

多文化共生の実現に向けた相互理解の促進や人材育成など、グローバル化の時代に相応しい地域社会の形成に向け、中長期的な視点に立った環境づくりに取り組む。

【展開方向Ⅲ 「北海道のグローバル化」の取組】

在住外国人・海外からの観光客の増加や国際市場のボーダーレス化等、グローバル化による本道への影響に的確かつ柔軟に対応し得るよう、「北海道のグローバル化」の推進を図る。

Ⅳ 施策の推進

1 施策推進の考え方

- (1) 上記「Ⅲ 国際化の展開方向」を踏まえ、その時々国際情勢に応じた具体的な取組の方向性を毎年度整理し、翌年度の予算事業の検討に反映
- (2) 予算検討プロセスを経て整理した各年度の予算事業を取りまとめ、公開
- (3) 予算事業の検討に当たっては、各部横断的なプロジェクトチームを設置し、各分野の施策を相互に連携させながら、効果的かつ効率的に事業を推進

2 施策の推進管理

PDCA サイクルに基づく「目標管理型行政運営システム」等を活用し、各年度の国際化関連施策の推進状況を整理し、公開

Ⅴ 国際化施策の取組 ※毎年度取りまとめ

- 1 国際化施策の取組方向
- 2 国際化施策関連予算事業一覧
- 3 国際化施策推進状況（施策評価調書）

Ⅵ 資料編

- 1 国際化関連方針・計画
- 2 経済・友好交流に係る各種データ など